

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	総務市民局市民部地域振興課
評価対象期間	平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市旧古河鉱業若松ビル	施設類型	目的・機能
	所 在 地	北九州市若松区本町一丁目 11 番 18 号		
	設置目的	地元住民・団体、地域行事等との連携を図りながら、交流・文化・観光拠点として広く活用する。		
指定管理者	名 称	旧古河鉱業若松ビル管理運営委員会		
	所 在 地	北九州市若松区浜町一丁目 6 番 23 号		
指定管理業務の内容	施設管理業務、企画・営業的な運営業務、その他（庶務・経理等）の業務			
指定期間	平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日			

2 管理運営実績

	目標（計画）	実 績	要因・原因分析
施設の設置目的の達成状況	平成 20 年度利用者数 50,000 人	平成 20 年度利用者数 47,006 人 施設利用者は、平成 19 年度に初めて減少に転じたが、平成 20 年度は再び増加に転じた。	平成 20 年度は、観光客等の施設見学者の利用が大幅に増加し、全体の利用者数としては前年度の実績を上回った。
利用者の満足度	施設環境の改善、スタッフの教育指導を継続的に行い、サービスの改善と人材育成を推進し、利用者の満足度アップを目指した。	利用者アンケートの結果 スタッフの対応状況 平成 20 年度 良い 94% 利用者の満足度 平成 20 年度 満足 74%	来館者にコーヒーの提供を行うことやイベント等を積極的に開催するなど、利用者のニーズを反映した事業展開が概ね評価された。
収支状況	施設利用者の増加と増収を図るため、コーヒーや地元の特産品を含めた土産品の販売を行うなどの自主事業や各種イベントを計画した。	平成 20 年度は、館利用者が前年度を上回り、施設利用料収入も本年度予算及び昨年度実績を上回った。	平成 20 年度の収支状況に関しては、施設利用者の確保と増加に努めた結果、収支計画のレベルを確保することができた。

3 評価結果

評価項目及び評価のポイント	
1	<p>施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み</p> <p>（１）施設の設置目的の達成</p> <p>計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。</p> <p>施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。</p> <p>施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。</p> <p>[所 見]</p> <p>施設の利用促進に関しては、施設の特性を活かしたコンサートの開催やコーヒーの提供など自主事業の展開に努めるとともに、ホームページや地元団体へのPR活動に積極的に取り組んでおり利用者の評判も良い。</p> <p>平成20年度の施設利用者数は、全体で前年比2%増となったが、サークルやクラブ活動などの有料利用者は2千800人余り減少した。</p>
	<p>（２）利用者の満足度</p> <p>利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。</p> <p>利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。</p> <p>利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。</p> <p>利用者への情報提供が十分になされたか。</p> <p>その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。</p> <p>[所 見]</p> <p>来館者にコーヒーの提供を行うことやイベント等を積極的に開催するなど、利用者のニーズを反映した事業展開が評価され、平成20年度のアンケートの結果、スタッフの対応状況についても94%以上が良いと答えており、施設利用者の満足度についても、7割以上が満足としている。</p>
2	<p>効率性の向上等に関する取組み</p> <p>（１）経費の低減等</p> <p>施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。</p> <p>清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。</p> <p>経費の効果的・効率的な執行がなされたか。</p> <p>[所 見]</p> <p>施設の管理運営にかかる物件費や人件費の効率的な支出については、概ね十分な取り</p>

<p>組みがなされていると評価できる。</p>
<p>(2) 収入の増加</p>
<p>収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。</p>
<p>[所 見]</p> <p>来館者にコーヒーの提供を行うことや寄贈を受けたピアノを活用したコンサート等のイベントを積極的に開催するなど、施設利用者の増加と施設利用料の増収を図るための取り組みが見られ、一定の効果が確認できた。</p>
<p>3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み</p>
<p>(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況</p>
<p>施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。</p>
<p>職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。</p>
<p>地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。</p>
<p>[所 見]</p> <p>施設の管理運営にあたり人員は適切に配置されていた。</p> <p>職員の資質・能力向上を図る取り組みについては、人権学習や暴追対策等の職員研修の実施など、必要な水準の確保が図られていた。</p> <p>地域や関係団体との協働については、当該団体の一番の強みであり、綿密な連携・協働が図られている。</p>
<p>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など</p>
<p>施設の利用者の個人情報保護するための対策が適切に実施されているか。</p>
<p>利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。</p>
<p>施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。</p>
<p>日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。</p>
<p>防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。</p>
<p>事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。</p>
<p>[所 見]</p> <p>個人情報の保護に関しては、プライバシーポリシーを提示し、個人情報を利用する際は必ず施設利用者の承認を得るなど、必要な取り組みがなされている。</p> <p>消防訓練の実施を含めた防火対策や防犯、安全対策に努めており、その結果事故の発生は報告されていない。</p>

【総合評価】

[所 見]

地元組織の強みを活かして、地域住民や地域団体と綿密な連携・協働を図りながら、施設の管理運営が実施された。

来館者にコーヒーの提供を行うことや寄贈を受けたピアノを活用したコンサート等のイベントを積極的に展開するなど、施設利用者の増加と施設利用料の増収を図る工夫が見られた。